



編集室



連休が続いて楽しかったのも束の間、その付けが回って来ててんやわんやの一月

だった。特に3週目は、6月号のインタビュー記事のテープ起こしに加えて、私ごとのイベントの資料の校正作業と、30年間続けている月報の編集の締め切りが重なって三時間の睡眠で二晩徹夜をしたが、週末の日曜日の朝に疲れが出てその日の予定をキャンセルする電話を入れた。若い頃には、次の日に疲れが出てもし晩寝れば疲れがとれたのに……。

年寄の冷や水という言葉を思い出した。37歳から32年間続けている風呂上がりに冷水のシャワーを浴びている事そのものに思われた週末だった。

薫風を入れて彫師の鑿光る(高)



今月号で、家庭菜園の話が掲載されましたが、我が家でも細々と楽しんでます。去年あたりから、庭が鳥の楽園状態に……びっくりしたのが、ブロッコリーの葉が全部食べられたり、ブルーベリーの実だけでなく花まで食べられちゃうこと。なんで、急に……、そうか、庭にねそべっていた、今はなき番犬にはなれそうにない人なつこいワンちゃんを守ってくれていたのか……。

食べごろのトマトやスイカをかじって知らん顔していたけど。(隆)



5月半ばだというのに毎日暑い。つい先日、梅や桜が咲き誇り、春を実感していたのも束の間、気分はもう夏である。我が家ではストーブと扇風機が仲良く並んでいる。年々暑い夏と寒い冬が威力を増し、春と秋の肩身が狭くなっていくように思えてならない。日本には四季折々の風情があり……などというのは過去の話になってしまったのだろうか。寂しい話である。(正)

